

動物の診察室から

○ 12 ○

県獣医師会で配布している災害時のパンフレット

私たちは、この数年の間に二回の大きな地震を経験しました。中越地震の際は震災直後、避難所に動物を連れて行く人たちがいましたが、避難所内での迷惑を考慮して、自立的に避難所の外、多くの方は車内で動物と避難をされてきました。その結果、不幸にもエコノミークラス症候群で亡くなられた方もいました。柏崎の地震の場合は、避難所での動物同伴が認められなかったこともあり、動物を連れて避難所へ行かれた方はほとんどいませんでした。この二つの地震を経験した新潟県ですが、大規模災害時の避難所での動物の対応を考えている自治体はどれくらいあるのでしょうか。

新潟市の場合には、昨年地域防災計画の見直しが行われました。その中で、災害時に避難所へ多くの動物を連れて行くことが予想されるため、その対応を事前に検討がなされ、現在、実際に避難所となる各小学校へ、動物を連れてきた場合の対応ができるかどうかのアンケートを行っています。

一方、ペットの飼い主の方は、実際に災害が起きた場合に自分のペットをどうするかを事前に考えておく必要があります。あの災害直後の混乱の中、大きな犬や、ワン

と鳴く犬を避難所へ連れて行くことは無理があります。新潟県獣医師会では、飼い主の方に、もしもの時に自分の動物

を避難所へ連れて行くことを考える必要はありません。常々災害時のことを考えておく必要があります。一度、ペットを連れて避難したいと要望して

みてください。例えば、避難所へ連れて行けない動物の場合には、避難所のグラウンドにテントを張ればそこで動物と一緒に避難できます。キャンプにペットを連れて行き経験しておくのも方法のひとつです。

過去の地震を考えると、災害後一日間をみながら協力して過ごせば、三日目には自衛隊がテントを張ってくれ、コンビニ

大規模災害への備え

飼い主は避難先を考えて

物と避難することを考えてもらいたいと、避難時のパンフレットを作り、ペットの飼い主の方に啓発しています。

常々災害時のことを考えておく必要があります。

一度、市町村へ問い合わせてみてください。

そして、動物と一緒に避難したいと要望して

みてください。例えば、避難所へ連れて行けない動物の場合には、避難所のグラウンドにテントを張ればそこで動物と一緒に避難できます。

キャンプにペットを連れて行き経験しておくのも方法のひとつです。

これだけは準備したい！ 防災グッズと心構え

大原則は、同行避難

！必ず動物と一緒に避難する

※避難場所と動物の同行が可能かを確認

- ワクチン接種と登録
- しつけ
- 避難訓練
- ※動物と野外キャンプを経験しておく

CHECK 防災グッズ

- 3日分の餌と水
- バスタオル、ブラシなど
- 引き網、迷子札など
- 排泄用品
- キャリアバッグ、ケージ
- 写真、健康メモ

各飼い主の必読書

＜社団法人 新潟県獣医師会 イラスト・加藤夢

